

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

7

2017 No.754

3 はじめの言葉

4 日本式村度組織での

最終責任の取り方

田原文夫

何につけても「グローバル化社会」だということで、何でも国際スタンダード（標準）を是とする風潮がある。ひところ前に大騒ぎされた国際会計基準も、そのひとつである。日本式会計方式で許されていた企業同士の株の持ち合いが否定されたり、含み資産論を否定した上で時価評価額資産計上をすべきだとする強い海外投資家の圧力があつた。企業法なども登場し、有価証券報告書への虚偽記載があつたら、経営者は禁固 20 年に処されるなどが取りざたされた。今話題の東芝のケースで言えば、歴代の代表者はみんな禁固刑のはずである。日本式村度が機能する社会組織では、果たしてどういう最終責任が問われることになるのだろうか。

10 情報社会を考える その82

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

嫌悪感が募るばかり

政権政党が政治的野望／目論見を持っていることは当たり前である。その目標／目的を達成するための手段として環境整備をしたいというのも常だと言える。しかしその環境整備の内容が拙速稚拙なものだと、その弊害は大きい。現政権が成立を急いだ共謀罪という手段が懸念されるのは、その点にある。単に政治的反対勢力を封じ込めたい政権にとって都合がいい手段（法律）とは、運用によっては、すべての反対勢力の強権的に封殺するために使われる可能性／危険性がある。過去の歴史が教えているのは戦前の治安維持法である。

12 オープンガバメント OG 42

情報社会をすすめる

その76

水田 浩

1990 年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995 年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクル

で、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念（言葉）で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

2 0 連載 アーキテクチャ論 (75)

IoT ミドルウェアのアーキテクチャ

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

IoT の導入が日本でも活発化してきた。Ngu らによる調査論文[1]では、IoT ミドルウェアのアーキテクチャ分類、IoT ミドルウェアの比較分析、鍵となる課題などを明らかにしている。今回は、海外の IoT ミドルウェアの動向と今後の留意点について紹介しよう。

2 8 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その 3 0

人材フル発揮のための就職/転職のステップとポイント Dr.ベスト

日本の人口減少/少子高齢化時代の原点にもどると、この先一人ひとは極めて貴重な人材（人財）であり、その意思と能力をいかにフル発揮できる仕事に就き、その活動を通して最大限の成果が得られるような働く仕組みを準備・提供していくのが喫緊の課題であるといえよう。人口減少／少子高齢化時代において最も重要なことは、数少ない人材のほとんど全員が自分の意思と能力にマッチした仕事に就き、その意思と能力がフルに発揮されるような状態が実現できることである。

3 6 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 9 2 回 広がりを見せるスマホの指紋認証の死角 根本忠明

ネットショッピングやネット決済にも使われるようになったスマホで、セキュリティの重要性が増している。従来のパスワードだけでなく、簡単便利に利用できる指紋認証も進歩し普及しはじめている。しかし、指紋認証を欺くいろいろな方法も、ネットで公開されている。今回は、指紋認証の今日に到る経緯を調べ、スマホの今後を考えてみたい。

3 9 続インテリジェンスへのいざない 90

将棋 AI ソフトに見る

記憶力を超えた思考力 今井 武

超天才の少年プロ棋士の連勝記録から将棋界だけでなく、日本中が沸き立っている。どこでこれだけの力を身に着けたのかという関心の中で、一流棋士を手玉に取っている AI ソフトの存在が取りざたされ、AI テクノロジーそのものへの関心も高まっている。特に、高速なデータ処理能力でなく進化するコンピュータの思考力に注目が集まっている。

4 2 連載 四字熟語力トレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介致します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円+税 送料(〒300) A5版 289頁 石井義興 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの相違点	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルと本システム・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確化の問題点とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁 豊島一政・木村 哲 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 181頁 田原文夫 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 197頁 一橋大学教授 安田 聖 監修 aism情報セキュリティ・マシントリ研究会 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM/KEYの監視と検束記
第二章 aism情報セキュリティマシントリ研究会の歩み	第十二章 メールが漏れない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット利用のための情報オーナーの確保
第四章 世界を駆けめぐったOodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2016年度の事業計画	第十八章 せわしりごとりに作成にあたってのメモ
第九章 情報セキュリティ研究の歩みと課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 271頁 高田 顯重 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成長野原
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 212頁 安田 聖 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方格子のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円+税 送料(〒300) A5版 285頁 加藤洋一 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れ文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向送信	■ 守るも求めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例集」
■ 記事の材料(ネタ)と発掘のテクニック	<付> 監修とうまく付き合う十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円+税 送料(〒300) A5版 260頁 迫 忠幸・湯浅 誠 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな志士
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバトンタッチ
第六章 日本プロジェクトチームの歩み	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米軍チーム立ち上がりの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大昔な話、英米二国間コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、帰となる三人組	第二十章 稼働その二 安定稼働と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp